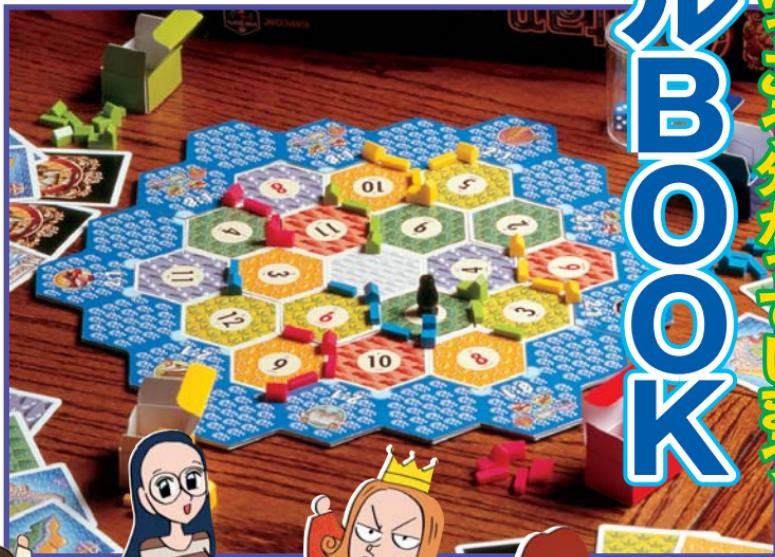


# Catan

A Game of Discovery, Settlement and Trade  
(カタン)™  
by Klaus Teuber

ルール  
ルール  
BOOK



MASAYUKI KATAYAMA

片山まさゆき



CAPCOM®

# INTRODUCTION

What's Catan?



プレイ人数：3～4人  
対象年齢：10歳以上  
プレイ時間：60分程度

## 世界で大人気、大ヒットテーブルゲーム

オリジナルの「カタン(原題：The Settlers of Catan)」はドイツで1995年に発売されて以来、250万セット(シリーズ累計500万セット)の売り上げを誇る大ヒットテーブルゲームです。「ドイツゲーム大賞グランプリ」「ドイツ年間ゲーム賞1位」をはじめとする、各国の様々な賞を受賞しており、高い戦略性と絶妙なゲームバランスで欧米ではすでに高い評価を得ています。

本作は、この『Catan(カタン)』を日本市場向けにプロデュース。オリジナルのゲーム性と雰囲気はそのままに、ボードデザインのリニューアル、松下進氏によるアートワークの採用など、より親しみやすく、プレイしやすい製品にグレードアップしています。



## プロlogue

時は大航海時代。

未知の島を探し求め多くの冒険者・開拓者たちが大海原へと旅立っていました。  
あるとき、肥沃な大地と豊富な資源を有するCatan島が発見されます。

しかし世紀の発見を喜ぶ間もなく、多くの開拓者たちが  
この島に次々と上陸をはじめています。

さて、あなたは開拓者の1人として、  
この島の覇権を握ることができるのでしょうか・・・。

## 新感覚エンターテイメント

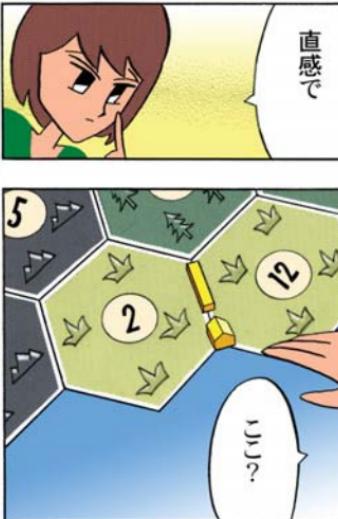
サイコロの目によって産出する(手に入る)資源を使い、Catan島を開拓していく、“新感覚エンターテイメント”です。開拓とは【家】を建て、【道】を敷き、さらには【家】を【街】に発展させること。そのためには時には貿易や交渉を活かしたり、時には島に潜む盗賊の襲撃も甘んじて受けなければなりません。様々な困難が入り乱れる中、局面によって新たな開拓戦略を練り、持てる資源を最大限に活用して、他の開拓者達とCatan島開拓を争っていきます。

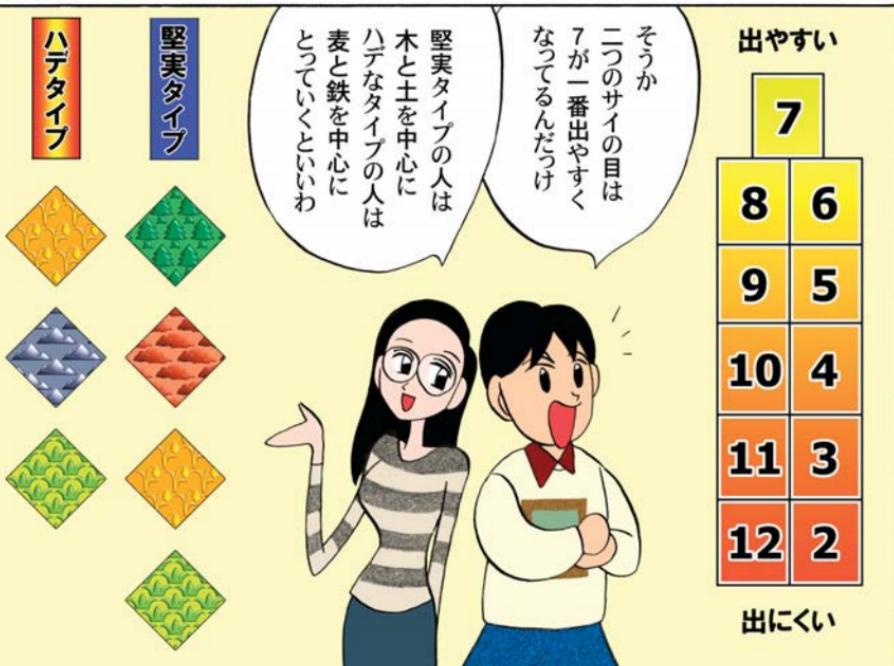
プレイするたびに変化する六角形のマップ、“シンプル”なルールながら“そこはかとない”戦略性…、あなたが体験したことのない、究極のゲームがここにあります・・・。

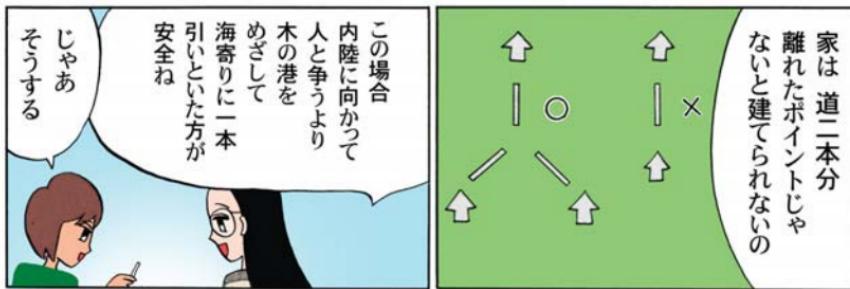
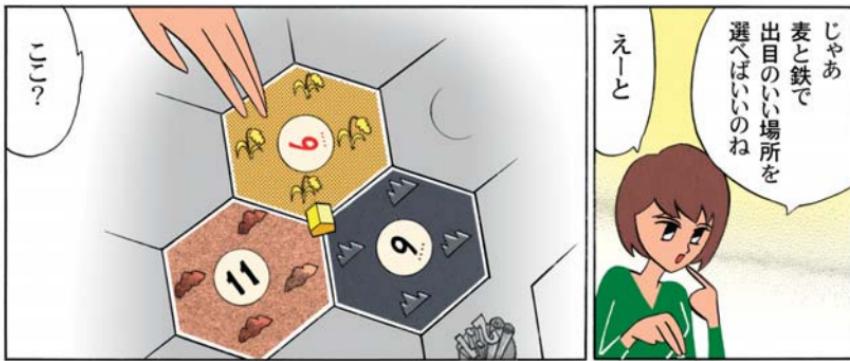


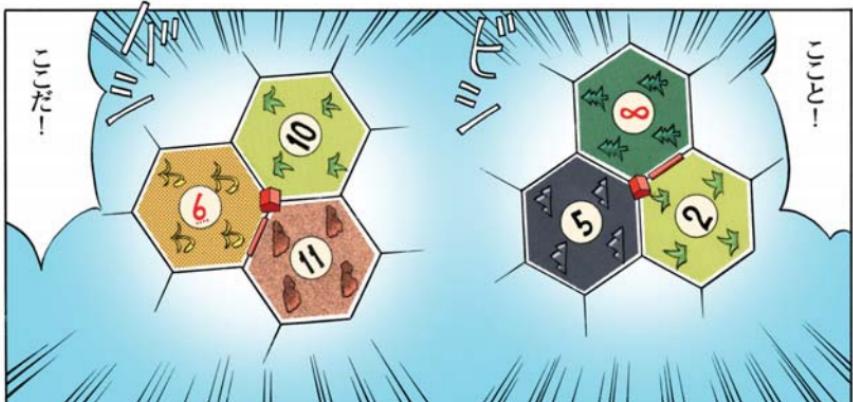
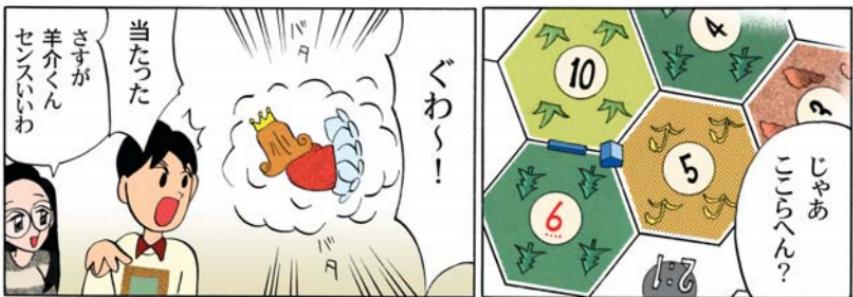


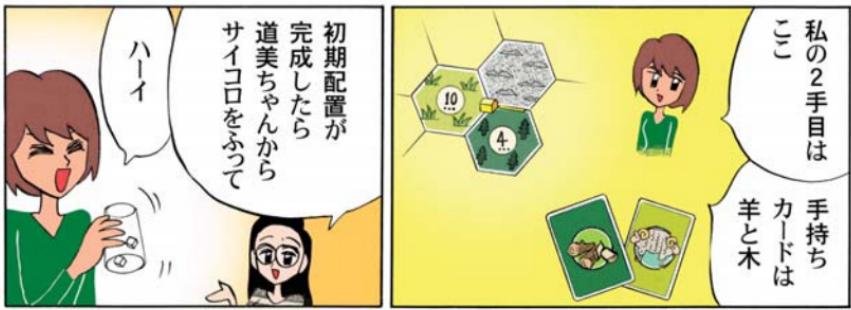
とりあえず  
このカタン島に  
それぞれ順番に  
家一軒 道一本を  
置いてみましょう

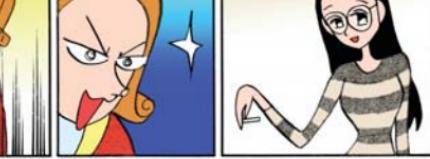


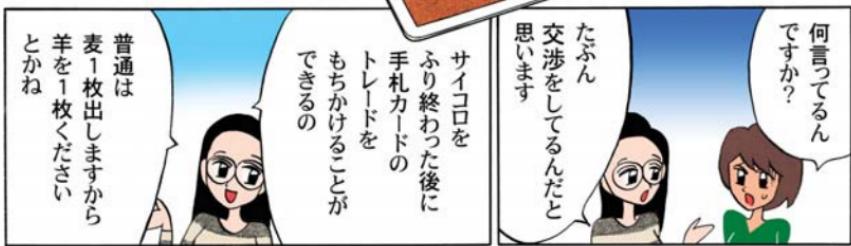




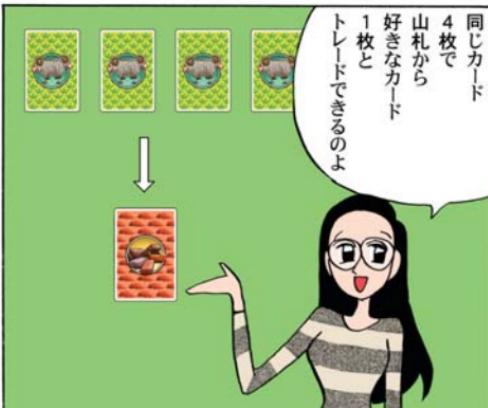




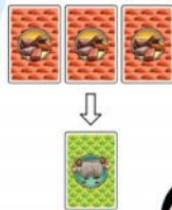




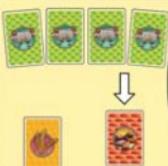




同じカード3枚で  
好きなカード1枚を  
トレードできるの



3・1の港に  
家が建ててある  
プレイヤーは



じゃあ  
土を換えて  
家を建てる  
ます

さらに  
木のマークで  
2・1の港は  
木を2枚で  
好きなカード1枚を  
トレードできます

というわけで  
私は木を3枚  
麦に換えて  
チャンスカードを  
引きます

ダメよ  
不公平じゃ  
ない

優花  
レクチャーもう  
しどけ！

ブル王子と  
交渉なしで  
家が街に  
変わったよ

ワーイ  
チツ  
やがつたか…

木の港は  
俺だ！  
手札が  
どんどん  
換えられるぞ

引いたばかりの  
チャンスカードは  
その手番では  
使えません  
次のターンからの  
タイミングは自由です



チャンスカードは  
この5種類  
自分のターンで  
1枚だけ  
使えるの

引いたまま  
ふせておいた  
チャンスカードは  
どう使うの？



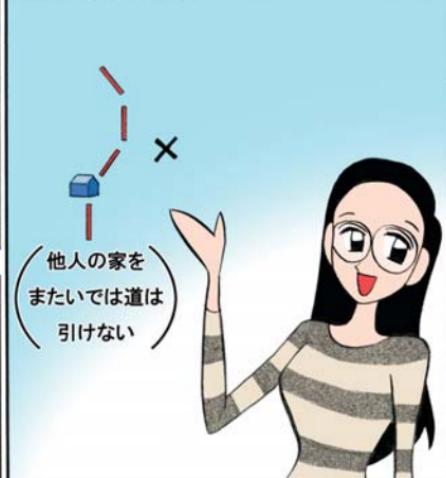
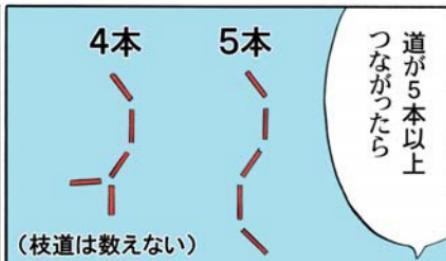


じゃこの辺で

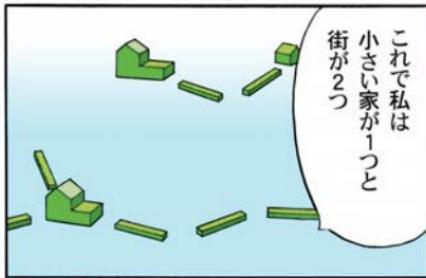


ソルジャーーを  
3枚開いたら  
ラージエストアーミーの  
2ポイントが  
もらえるの













# ルールの補足

## ゲーム盤のつくり方

【陸マップ①(内輪)】を中心とし、その周りに【陸マップ②(外輪)】・【海マップ(2枚)】と組み合わせていきます。初めて遊ぶときは、盤面に数字が表示されている面を使用してみましょう。

【砂漠】の上に【盗賊コマ】を置いて、マップ完成です。

### ●ゲームに慣れたら

数字チップを使用し、盤面の上にゲーム毎にランダムに配置しましょう。また陸マップ・海マップは回転させたり、裏返したりして、無数のマップの組み合わせを楽しむことができます。

## 自分の手番でのプレイ順序の確認

- |  |                        |
|--|------------------------|
| ①(必要があれば)チャンスカードを使用する。   | ④(必要があれば)トレードを行う。      |
| ②サイコロを振る。  | ⑤(必要があれば)チャンスカードを使用する。 |
| ③サイコロの出目に合わせ、資源を得る。「7」であればバースト処理を行い、盗賊を動かして、置いた土地の所有者たち1人から資源カードを1枚引く。 | ⑥開拓を行う。                |

## 建設のルールの確認

### 道を建てるルール

自分の「道」「家」「街」のいずれかに接していないければ建てることができません。

また海岸線(陸と海の境)には敷くことができますが、海中には敷くことができません。

### 家を建てるルール

最初に建てた家から道を2本(以上)隔てて、新たに「家」を建てていきます。

また建てたい地点から六角形の1辺隔てた隣に「家」か「街」が既に建ててあった場合(自分/他のプレイヤーの「家」「街」いずれの場合でも)、そこに建設を行うことはできません。

### 街を建てるルール

「街」の建設は、既に建っている「家」との置き換え(「家」を「街」にアップグレードする"と呼びます。)になります。  
「街」にアップグレードすると2ポイントになるだけではなく、街に接している土地から資源が生産されたときは、  
その資源を2枚取ることができます。

## 細かなルールの補足

- ①手札は常に**相手から見えないように**伏せてプレイします。
- ②開拓は自分の手番で、資源のある限り何回でも行えます。また資源は手持ちが0枚になってもかまいません。
- ③道・家・街の建設は他のプレイヤーが既に建設をしている地点には建てることができません。また、他のプレイヤーの家や街をまたいで道を建設していくこともできません。
- ④道を3本以上建設した先や、また、先に道だけを3本以上建設しておいたその間にも、家を建てることができます。また相手がつなげている道の間に割り込んで家を建てることも可能です。
- ⑤(自分の)家は盤面上に**最大5つ**までしか建てられません。家を街にアップグレードして、手元に戻った家のコマは再度建設に使用することができます。その他、道は**最大15本**・街は**最大4つ**までのルールになっています。
- ⑥引いたチャンスカードは伏せた状態で自分の手前に並べておき、同様に使用後も表にした状態で自分の手前に並べておきます(**山札には戻しません。**)。
- ⑦トレードは自分の手番で何回行ってもかまいません。
- ⑧港に家を建てた手番では、港を使用した貿易を行うことはできません(次の手番から使用することができます。)。港が接している土地に盗賊が置かれている状態でも、港の効果は有効です。